

名城大学 経済・経営学会会報

No.39

『名城論叢』
第十卷 第三号 付録
二〇〇九年十一月三〇日
名城大学 経済・経営学会 発行

アメリカの古書と ネットショッピング

経済学部経済学科 名 和 洋 人

研究を進めるうえで必要な文献・資料の入手は手早く、簡単、かつ確実に成し遂げたいものである。しかし、アメリカ経済の研究をしていると、面倒なことまでてくる。五十年以上前に出版された絶版書など、古いものを探すなどの場合は簡単ではない。

日本国内に希望する文献・資料がない場合は、海外の図書館に頼んで送ってもらうのが一般的ではなからうか。しかし、それでも「貴重書である」「対象となる文献の量が多すぎる」などの理由で送付してもらえず、閲覧できなかったことも一度ではない。代替策として、わずかなページの複写物を送ってもらうことも可能であるが、高額の請求書がまわってくるのが常である。他方、国内各地の大学所蔵のマイクロ資料の入手に際し

ても、高額な印刷費と出張費に閉口することが多い。

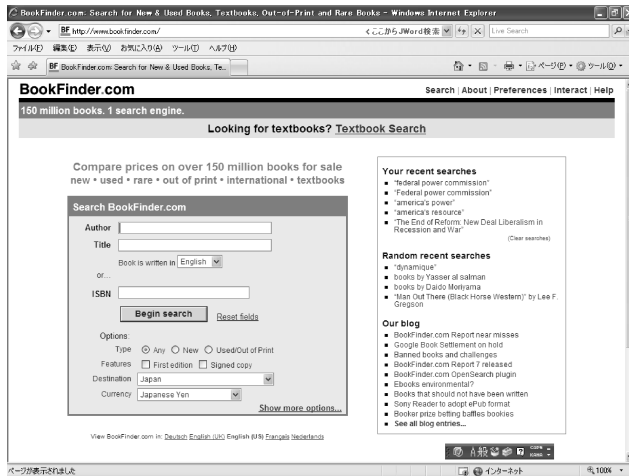
そんな時、私は、アメリカ合衆国あるいはヨーロッパの古書店からインターネット経由で現物の直接購入を試みる。もちろん古書という性格上、「在庫があれば」の話なのだが、そこで、具体的な購入手順について以下で紹介しつつ、これまでに利用したなかで感じた点をコメントさせてもらえば幸いである。

「なにを今さら、このような当たり前のことを……」と思われる方も当然いらつしやるはずである。その場合には、ご覧いただければ幸いである。

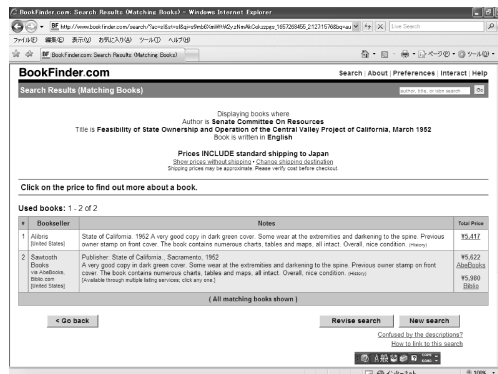
ネットショッピング開始！

私がよく利用する古書店ネットワークウェブサイトを例に紹介させていただきたい。第1図に示したBookFinder.comのページから、私は探し始めることが多い。このページは英語を中心とした一億五〇〇〇万冊の洋書、それも新刊本、古本、貴重書、絶版本、教科書とさまざまなものを検索できる。私が利用するのは、とりわけ貴重書、絶版書の類を探す時である。

検索方法はいたってシンプルである。最初に第1図に示したトップページにおいて、著者名あるいは書名を入力して検索す



第1図 BookFinder.com トップページ
 出所) BookFinder.com ホームページ
 (http://www.bookfinder.com/)



第2図 BookFinder.com 出品リストのページ
 出所) BookFinder.com ホームページ
 (http://www.bookfinder.com/search/?ac=sl&st=sl&q=s9mb6XmWftW2y.zNmAkCokzps_1657268455_2:127:1576&bq=author%3Dsenate%2520committee%2520on%2520resources%26title%3Dfeasibility%2520of%2520state%2520ownership%2520and%2520operation%2520of%2520the%2520central%2520valley%2520project%2520of%2520california%252C%2520mar%2520ch%25201952)

る。すると、検索ワードに関係する文献一覧が表示されてくるのである。その一覧の中から希望の文献を選択したうえで、購入古書店の選択を行うべく、第2図のようなページに移動する。とりあえず、ここでは、私の研究に関連するキーワードを入れた場合の検索結果を見てみたい。

Bookseller の欄を見ると、Alibris [United States] からの出品の Sawtooth Books via AbeBooks, Biblio.com [United States] からのものが表示されている。ここには、書籍販売ショッピングサイトとでも言うべきものが表示されることもあるし、小規模の独立した古書店それぞれが明示される場合もある。例えば、第2図の Alibris は、一九九八年に設立された書籍販売ショッピングサイトであり、前者に相当する。日本での知名度は Amazon ほどではないが、アメリカの絶版書・貴重書を購入する際には、とても頼りになる存在だ。なぜなら、Alibris は数千もの独立した書店あるいは古書店と連携しているからである。Notes の部分には書籍の状態が明示されるが、これは書店によって様々なスタイルとなる。ここをしつかり確認しないとひどい状態の本が送りつけられかねない（確認していても期待外れの場合があるが）。Total Price の部分には送料を含んだ価格が円表示され、大変便利である。ここで書籍の状態と価格をチェックしたのち、ベストの商品を選ぶと、第3図のような各ショッピングサイトへ移動することになる。そこで、出品している古書店の住所や評価を見たいうえで、最終的な購入手続きを行うのである。

さて、続いて古書のネットショッピングに関し、いくつか



第3図 alibris ショッピングサイト

出所) alibris ホームページ

(http://www.alibris.com/booksearch_detail?invId=9022760131&pwork=0&pisbn=&siteID=5Nv03vHgBCI-cB3cCxZG_.RfaFaK3txX1A)

メントさせていただければ、と思う。

入手しやすい価格・簡単な決済

よほどの貴重書の場合は、高額な出費を覚悟しなければならぬが、幸いなことに私が必要とするものは、通常の書籍を購入するのと、さほど変わらない価格水準のことが多い。海外の図書館から文献・資料を送付してもらう場合と比べても十分に納得できる設定だ。また、なによりも現物を手元に確保できるメリットは計り知れない。

また、当然ながら円高時の大量発注は有利である。もつとも、そのためには購入希望文献リストを日常的に作成しておくことが大切になる。二〇〇九年九月下旬ころ、一ドル九〇円を割って一ドル八八―八九円という円高水準で推移していたので、この機に大量発注をかけてみた。このタイミングがベストであったか否かは現時点ではなんとも言えないが、これまでの私の購入歴の中では、抜群の円高水準であったことは間違いない。決済方法も簡単だ。クレジットカード決済が選択できるのである。ただし当然であるが買いつぎには注意が必要である。必要か否かを十分考えぬうちに次々と購入してしまう癖のある私は、何度失敗したことが。

配送方法の選択

購入書（古書店）を決定したら次は配送方法の選択である。

「航空便」もしくは「普通便」を選択するのである。割高な料金を我慢する必要があるが、「航空便」を選択すれば一週間程度で入手できる。「普通便」を選択した場合、良心的な古書店などは航空便で配送してくれることもあるが、この場合はあくまで船便が基本である。船便となった場合は、最悪で二―三ヵ月待たされる。特に、ヨーロッパの古書店やアメリカでも西海岸以外の古書店から購入する場合には注意が必要である。早急に入手しなければならぬ文献の取り寄せを、パナマ運河経由やスエズ運河経由にするわけにはいかない。この点では、適切な使い分けが不可欠だ。

品質水準の把握

それぞれの古書の品質基準は、良好な順に、Fine/Like New (F) > Very Good (VG) > Good (G) > Fair (FR) > Poor (P) と、いったような表記がなされる。ただし、購入希望古書の品質基準は店によってバラツキがあるように感じている。もつとも最近では、品質にかかわる情報の明示を適切に行うところが増えてきたようで、改善傾向にはあると思う。いずれにせよ出品されている商品の状態を、一つ一つ詳細に確認して、数ある商品（すなわち古書店）の中から選択しなければならないのである。

ちなみに、これまでの購入歴のなかでは、驚くべき品質の商品が送付されてきたことがあった。なんと、書籍の全文コピーを簡易製本したものを、古書として送ってきた古書店が存在し

たのである。しかも、その簡易製本には黄色の蛍光ペンで大量にマーキングが施されていた。これは、三十四年ほど前の出来事である。はるばる遠いところから送られてきた郵便物を、わくわくしながら開封した直後の、驚きと落胆は今でも鮮明に覚えていいる。一番安い商品に飛びついた私も悪かったのであるが……。

おわりに

近年、日本においても、北海道から沖縄まで各地の古書店在庫をインターネットで一括検索できるようになってきた。文献検索と情報技術との相性の良さを、改めて認識させられる。同時に情報技術革命のインパクトの大きさを感ずる瞬間である。これこそが、一地方の独立した小規模の古書店を、世界中と結びつけた最大の立役者なのだから。

さて、アメリカの古書店利用について乱文を書き連ねてしまったが、これに限らず、文献・資料人手上の環境改善・環境変化は、近年著しい。ライブラリアンの方々の仕事も、情報技術の発展の中で、近年大きな変化を遂げているはずである。実際、研究遂行に当たっては、私自身、こうした環境改善から多大なる利益を享受してきたのである。最後となつてしまつたが、文献・資料の入手にあつてお世話になつていいるすべての方々に、この場を借りてお礼させていただければと思う。

いつもありがとうございます。また、これからも、なにとぞよろしくお願い申し上げます。